

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成24年 5月 18日現在

機関番号：17601

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2010～2011

課題番号：22652046

研究課題名（和文）看護英語コーパス・コンコーダンスプロジェクト

研究課題名（英文）Nursing English- A Corpus Concordancing Project

研究代表者

マイケル ゲスト (MICHAEL GUEST)

宮崎大学・医学部・准教授

研究者番号：00404400

研究成果の概要（和文）：

英語を使用した看護場面という制度的な状況においてどのようなディスコースが発生するのか、4カ国を訪問し（米国1、フィリピン3、シンガポール1、マレーシア1）、随時記録をしながら調査を行った。業務引き継ぎ、業務確認、研修看護師と指導看護師の関係、患者指導、看護師同士による説明・手順等である。特に語用論的な観点から看護師による独特な言語ストラテジーを見出した。この件に関して、複数の看護師に聞き取り調査も行った。

研究成果の概要（英文）：

The two researchers visited five hospitals in four different countries in order to conduct research (The U.S., The Philippines (2), Singapore and Malaysia) on workplace nursing discourse in English. We surveyed the results by comparing our data to existing corpora, some of it via a concordance, and noted several features of interaction that had not yet been noted in existing Nursing English textbooks. As well as forms that were unique to Asian English medical settings. These were compiled and presented in two completed papers (plus three in publication process), four international presentations at conferences, and an English coursebook for our own nursing students.

We feel that our research has been novel and productive, and has inspired question and commentary from many other professionals in the field. We feel that our insights will also be applied to Nursing English education and materials both at our home university and elsewhere.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	1,000,000	0	1,000,000
2011年度	800,000	240,000	1,040,000
年度			
年度			
年度			
総計	1,800,000	240,000	2,040,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：言語学、英語学

キーワード：文体

1. 研究開始当初の背景

医療の分野では、在日外国人の増加に伴う外国人患者の増加、海外からの看護師受け入れ、高まる国際医療ニーズなど、めまぐるしい環境の変化に伴い、英語での対応を求められる医療人が増えてきている。実践的な看護場面により近い場面の提供を学習者に提示することで、既存の教材よりも、より自然な看護英語教材の開発に繋げることが期待できると考えた。

2. 研究の目的

英語圏において参与観察によって得られたデータをを用い、話しことばコーパスの構築し、コンコーダンスを利用して、看護師と患者間における会話の特徴、言語上の方略などを分析する。分析結果は、看護英語教育用の教材の開発につなげる。

3. 研究の方法

現在使用されている看護英語教材を、McCarthy and Carter モデルをもとに、談話分析を行う。英語圏の看護師と患者の間で交わされる会話のコーパスデータの収集の実施を行う。本学と提携している、カリフォルニア大学、アーバイン校を視野に入れている。また、外国人患者を看護する際に、看護師が感じる **communication breakdown** をテーマに、グループ・フォーカスインタビューを実施する。また、看護師が、普段の勤務において、患者と接する際に、言語上配慮していることについても、フォーカス・グループインタビューを行う。さらに、フィリピンの Silliman 大学において、アメリカだけのモ

デルだけでなく、国際的な看護場面ディスコースの実態を、より把握するために看護英語データを調査し、収集された言語カテゴリーによって整備されコーパス化を実現させる。医療場面における録画または録音の実施には、倫理的な問題などの制約から、本年度内にデータ収集の許可が出ないことが予想される。最近では、アメリカでもこのようなデータの扱いには特に慎重になっており、最低でも1年以上かかる、との報告もあるくらいである。その場合は、東京の英語総合研究所から、コーパスデータを購入して分析に利用することで、アメリカで収集されたデータとして購入し、コーパスの構築をはかりたい。

ゲストは、研究全体を統括する。研究分担者である南部は、コーパスデータの収集と編集、分析を行う。最終的な教材開発は、ゲストと南部が共同で開発を担当する。収集したコーパスデータは、専門家に依頼し、タグ付けや統計処理を行う。コーパスの処理については、データ作業のために、謝金を支払う形で作業を依頼することも視野に入れる。

4. 研究成果

当初の、コンコーダンス研究という目的から、看護英語言語ストラテジー能力の研究に焦点を絞り、複数の英語圏による看護英語の描写を行った。その結果、医療・看護の場で看護師同士で使用される言語方略の特徴などを抽出することが出来た。現在、この研究に関しては2本の論文を執筆し、査読中の段階にある。本年度も執筆を計画している。また、本研究の看護英語の言語ストラテジーについての概要を、複数のアジア圏において発表することを視野に入れる。

今年度の結果を踏まえ、アジア圏での看護英語データをさらに充実させ、看護英語の言語方略をさらに詳細に分析する必要性と意義を見出した。本研究の結果は本学の選択科目である、看護英語 ENP (English for Nursing Purposes) 用の教科書の基幹を成す、あるいは長期的に使用できる教材として貢献することを目的とする。

全ての研究結果は、本大学あるいは可能であれば他の教育機関で活用できるよう、看護英語の指導教材・学習教材につなげていく。

5. 主な発表論文等

Publication of two joint academic papers with three more under consideration for publication. Presentations (two solo, one dual) at three international conferences, production and publication of original nursing English coursebook for students—based on data gathered in the field.

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 2 件)

1. GUEST, Michael & NAMBU, Miyuki. Framing Nursing Discourse for English for Specific Purposes Materials' Development. Journal of Medical English Education Vol. 10 No.3 p.78-83 Oct. 2011. 査読有
2. GUEST, Michael & NAMBU, Miyuki. Strategic Competence and ESP Materials Development: A Pilot Study

in Authentic Nursing Discourse.

JOURNAL: E S P の 研 究 と 実 (Research and Practice in ESP)

2011 NUMBER: 10 PAGES: 47-57

ISSN: 1347-7625 査読無

[学会発表] (計 4 件)

1. Combining Asian and American Corpora for ESP Materials Development

Thai TESOL Conference

Chiang Mai, Thailand

Jan. 21-22, 2011

2. Asian models for Asian students; A Corpus-based study of Nursing English

AsiaTEFL Conference

Seoul, S. Korea

Thurs. July 28/2011

3. AILA International Conference, Beijing, China

w/ Nambu, Miyuki

Aug. 24/2011

Discourse Strategies in Nursing English- An ESP/Concordancing research project

4. The argument for discourse over corpus analysis

Jan. 27/28th, 2012

Bangkok, Thailand

Thai TESOL Conference

[図書] (計 1 件)

1. Mike's Communication English Coursebook for Nursing 1 & 2

w/ Noriko Nagai

Published by Hiromae

Feb. 2012

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

名称 :

発明者 :

権利者 :

種類 :

番号 :

出願年月日 :

国内外の別 :

○取得状況 (計 0 件)

名称 :

発明者 :

権利者 :

種類 :

番号 :

取得年月日 :

国内外の別 :

[その他]

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

マイケル ゲスト (MICHAEL GUEST)

宮崎大学・医学部・准教授

研究者番号 : 00404400

(2) 研究分担者

南部 みゆき (NANBU MIYUKI)

宮崎大学・医学部・講師

研究者番号 : 90550418

(3) 連携研究者

()

研究者番号 :